

報告第1号

II おうかがい市バスの運行実績について

おうかがい市バスの運行実績について、以下のとおり報告いたします。

1 「おうかがい市バス」の概要

項 目	内 容
事業主体	太田市が運営し、(株)矢島タクシーに運行を委託している。
運行開始	平成24年4月3日
運行範囲	市の施設、医療機関、大型商業施設、鉄道駅等を停留所とみなし、停留所から停留所の間を運行する。
利用対象者	市内居住者で次の各号のいずれかに該当する者 ①65歳以上の高齢者で歩行以外の移動手段を持たない者 ②その他特別の理由により市長が認めた者 ※具体的には65歳以下であっても、自転車以外の移動手段を持たない者で、同居及び別居の家族等に移動援助を受けることができない者
利用登録方法	市に利用登録申請をし、認定を受ける。認定を受けた申請者に利用登録証を交付する。
運行地域	太田市内に限る。 ※例外として、足利赤十字病院（足利市）及び東邦病院（みどり市）を停留所に設定している。
利用方法	バス停留所として登録された施設等から施設等までの間を事前予約により乗合自動車にて移動する。 (バス停留所設置数は、平成30年8月末現在765箇所)
利用回数	制限は設けない。
運行時間	午前7時から午後4時まで
運休日	土曜日、日曜日、祝日及び12月29日から翌年の1月3日まで
利用予約	利用予定日の1週間前から前日までに本人又は家族等が電話にて「おうかがい市バス管理センター」へ予約する。
利用料金	片道100円
車両条件及び運行台数	10人乗り以下のワンボックス車とし、9台を運行している。 ※全て(株)矢島タクシーが所有する車両を使用している。 ※車両更新に合わせ、第8回太田市地域公共交通活性化協議会において、車両条件を変更した。

2 利用実績

平成 24 年 4 月当初は 6 台の車両で運行していましたが、平成 25 年 4 月、平成 26 年 4 月、平成 28 年 4 月に車両を各 1 台増車し、現在は、10 人乗り 2 台、7 人乗り 7 台、計 9 台体制で運行しています。

利用登録者数（表 2 - 1）につきましては、平成 26 年度に 3 千人を超え、以降年々増加しておりますが、登録の方が高齢化し亡くなったことや介護保険制度に移行したなど、減少した要因もあり、一昨年の登録者数ほどの増加はありませんでした。

延べ利用者数（表 2 - 3）につきましても、利用登録者数の増加に伴い運行車両を増やしたこともあり、平成 25 年度に 3 万人を超えましたが、電話予約時の短時間化を図るために、1 回に予約できる回数を制限したことが直接の原因か不明ですが、延べ利用者数は減少となってしまいました。

目的地別延べ利用者数（表 2 - 5）につきましては、各年度とも内科診療所及び歯科診療所の利用者が約 32%、大型店舗の利用者が約 11%台となっており、通院と買い物が主な利用目的となっております。

利用回数別実質利用者数（表 2 - 6）につきましては、各年度とも 1 回から 20 回が約 62%、21 回から 40 回が約 16%と双方で約 78%を占めています。

バス停留所の設置数（表 2 - 7）につきましても平成 29 年度は 1 箇所が増となっております。目的地別バス停留所数（表 2 - 8）では、各区長からの要望に対し設置の必要性を確認し追加したり、営業廃止した店舗等を廃止いたしました。

一人あたりの運行経費を見ますと、

平成 26 年度は、50,820,140 円 ÷ 30,703 人 ≒ 1,655 円

平成 27 年度は、50,389,080 円 ÷ 32,108 人 ≒ 1,569 円

平成 28 年度は、56,395,365 円 ÷ 33,130 人 ≒ 1,702 円

平成 29 年度は、56,360,220 円 ÷ 32,506 人 ≒ 1,734 円

となっております。

バス停留所は増えることで利便性が向上する一方、乗降場所が増えることにより、運行効率の低下を招くことにもなっています。また太田市地域公共交通網形成計画の中でも、停留所設置以降、一度も利用していない停留所がまとめられており、アクセスポイントの削減をあげております。

このことから、近年の利用実態を確認し、未利用の停留所の廃止を検討しております。具体的な場所は、次回の活性化協議会で案を提示する予定です。